

令和4年度
第2回
学校評議員会



兵庫県立芦屋国際中等教育学校

■ 目 次 ■

次第	…… 1
学校評議員会名簿	…… 2
卒業生（15期生）の状況	…… 3
令和5年度兵庫県立芦屋国際中等教育学校入学者選考受験状況等	…… 4
学校の取り組み係る自己評価 兵庫県教職員資質向上使用による自己点検（教員）	…… 5
学校生活に関するアンケート（生徒）	…… 6
学校生活に関するアンケート（生徒）記述 まとめ	…… 9
学校生活に関するアンケート（保護者）	……13
学校生活に関するアンケート（保護者）記述 まとめ	……14

令和4年度
第2回
学校評議員会

次 第

1 日 時

令和5年3月2（木）13：30～

2 場 所

県立芦屋国際中等教育学校 応接室

3 議 事

(1) 卒業生（15期生）の状況

(2) 令和5年度入学者選考

(3) 学校評価

令和4年度
学校評議員会

名簿

名前	所属等
岡田 龍一	元阪神南地域教育推進委員
河合 優年	武庫川女子大学副学長
木場 修司	同窓会会長
鈴木 直子	元PTA会長
上田 多見子	元PTA会長
入江 幸太郎	PTA会長
荒井 ふみ	PTA副会長

※本校出席者

名前	分掌
磯村 要	校長
藤川 明人	前期課程教頭
福畠 一良	後期課程教頭
谷元 浩好	事務長
野村 真理	6年次主任
山中 邦子	総務部

Ⅰ 卒業生（15期生）の状況

(1) 在籍生徒数

	男子	女子	合計
入学	25	55	80
卒業	22	53	75

(2) 留学者

人数	行先	期間
1	カナダ	令和3年8月1日～令和4年7月31日
1	フィンランド	令和3年8月1日～令和4年7月31日
1	ドイツ	令和3年8月1日～令和4年7月31日

(3) 修学旅行・研修旅行

実施学年次	行先	期間
第3学年	沖縄	平成31年4月25日～平成31年4月25日
第5年次	ニュージーランド	令和3年11月14日～令和3年11月19日 (コロナ禍により実施できず)
	北海道	令和4年10月1日～令和4年10月4日 (コロナ禍により実施できず) 令和4年2月12日～令和4年2月15日 (コロナ禍により実施できず)
第6年次	長崎	令和4年4月25日～令和4年4月27日

(4) 15期生進路状況（令和5年2月18日現在）

国公立大学

学校名	人数
東京外大	1
京都工芸繊維大	1
神戸大	1
神戸市外大	1
港湾職能短期大学校	1
合計	5

私立大学

学校名	人数
上智大	2
早稲田大	1
東京農大	1
京都外大	2
京都産業大	5
京都女子大	2
京都精華大	2
京都芸術大	1

龍谷大	5
同志社女子大	2
立命館大	1
大阪経大	2
大阪工大	1
関西大	10
関西外大	2
近畿大	13
阪南大	8
関西学院大	1
甲南女子大	2
神戸学院大	4
神戸松蔭女子大	1
園田学園女子大	1
兵庫医大	3
武庫川女子大	1
合計	74

専門学校

学校名	人数
神戸電子専門	1
大阪ホテル観光&ウェディング専門	1
大阪ウェディング&ブライダル専門	1
宝塚市立看護専門	1
神戸動植物環境専門	1
神戸ブレイメン動物専門	1
合計	6

海外進学

学校名	人数
仁川大学校（韓国）	1

2 令和5年度入学者選考

1 受験状況

募集人数	令和5年度		令和4年度
	志願者数	受験者数	受験者数
80人	293人	271人	292人

2 受験者数内訳

募集対象者	令和5年度	令和4年度
	受験者数	受験者数
① 日本語や日本文化への理解が不十分な外国人児童で、平成29年4月1日以降に来日し、かつ日本国籍を有しない児童	19人	12人
② 継続して1年以上海外に居住した児童で、平成29年4月1日以降に海外から帰国した児童	44人	51人
③ 本校の教育目標を理解し、留学や海外での生活等を目指して特に入学を希望する児童	208人	229人

※ 合格者発表は2月9日（木）である。

3 学校評価

(1) 学校の取り組みに係る自己評価 5段階で評価したのち、3段階（A:できている・B:できていない・C:わからない）の人数割合を表示

基本方針	基本的方向	施策	取組	達成状況			達成状況			取組状況や改善方策
				A	B	C	□よくできている ■あまりできていない ■わからない	□まあまあできている ■できていない	■わからない	
「生きる力」を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	学力向上の推進	1. 指導計画の作成及び観点別評価と指導の一体化	71.4%	20.0%	8.6%	71.4%	20.0%		○新課程の導入により、同じ授業を受け持つ教員と連携して、評価の判断材料となる課題や教材を工夫している。 ○国際理解を深める教育は、目的を理解するための事前打ち合わせをしっかりとすることが必要。 ○AIタイムでは、SDGsに関連した内容を取り入れるなど、授業内容を例年よりは工夫できた。 ○今年度から、一人1台のデバイス所持が決められたことを受けて、少しでも多くの場面で効果的に活用できるよう工夫が必要。 ○生徒同士で問題を解決しようとする意識が育っている。 ○文化祭において、校外学習に関連させながら、テーマに沿った内容を充実させることができた。 ○これからも国際高校とさらに交流を深めていきたい。 ○体育大会やスポーツ大会で自主的に行動する場面が増えた。 ○コロナウィルスの対応について、クラスターの発生もなく、ほとんどの生徒が元気に登校できている。 ○部活動では、熱中症対策を徹底し、無理な活動は控えた。 ○登下校時に、立ち番等を行い交通ルールやルートの確認を行っている。 ○授業の復讐や、欠席の生徒に対応するために、授業後に板書やパワーポイントをClassiにアップしている。
			2. 生徒の多様性に対応した授業	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%		
		国際理解を深める教育	3. 外部試験（GTEC等）の活用	59.4%	15.6%	25.0%	59.4%	15.6%		
			4. AIタイムの充実	74.2%	3.2%	22.6%	74.2%	3.2%		
			5. アートマイル等、海外校との交流	56.7%	23.3%	20.0%	56.7%	23.3%		
		情報活用能力の育成	6. 教員がICT機器を用いて行う授業	65.7%	28.6%	5.7%	65.7%	28.6%		
			7. 生徒が主体的にICT機器を活用する授業	57.1%	37.1%	5.7%	57.1%	37.1%		
	「豊かな心」の育成	人間力の育成	8. 生徒会活動の活性化	71.9%	18.8%	9.4%	71.9%	18.8%		
			9. 生徒主体の文化祭	82.9%	8.6%	8.6%	82.9%	8.6%		
		体験活動の推進	10. 研修(修学)旅行等、校外学習の活性化	88.6%	8.6%	2.9%	88.6%	8.6%		
	「健やかな体」の育成	心・技・体の醸成	11. 生徒主体の体育大会・スポーツ大会	77.1%	20.0%	2.9%	77.1%	20.0%		
			12. 活動方針に基づいた部活動の実施	80.0%	14.3%	5.7%	80.0%	14.3%		
		健康教育・安全教育	13. 登下校等の安全確保	76.5%	20.6%	2.9%	76.5%	20.6%		
			14. WBGTを活用した熱中症対策	76.5%	17.6%	5.9%	76.5%	17.6%		
			15. 新型コロナウイルス感染症対策	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%		
	特別支援教育の推進	16. 多様な学びの充実 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実	77.1%	22.9%	0.0%	77.1%	22.9%			
子どもたちの学びを支える環境の充実	教職員の資質・能力の向上	教職員の働き方改革の推進	17. 校務支援システムの運用	54.3%	45.7%	0.0%	54.3%	45.7%	○仕事が多く煩雑化している。仕事の取捨選択が必要。各人の負担を減らすこともそうだが、全体としての負担を減らすことも必要。 ○情報セキュリティに対する各教員の意識を向上させる必要がある。 ○学年PTAの代表の方と連携を取り、情報の共有に努めている。クラスのようなすなどをClassiでアップした。 ○Classiの活用を、家庭と連携しながら、さらに普及させる必要がある。	
			18. 定時退勤や業務効率化への取組	25.7%	71.4%	2.9%	25.7%	71.4%		
	学校の組織力の強化	情報共有	19. 情報セキュリティ徹底、情報資産管理	57.1%	37.1%	5.7%	57.1%	37.1%		
			20. いじめアンケートによる早期発見・対応	88.6%	5.7%	5.7%	88.6%	5.7%		
	家庭と地域による学校と連携した教育の推進	家庭との協働	21. PTAとの連携	74.3%	22.9%	2.9%	74.3%	22.9%		
			22. HPやClassiを活用した情報の発信	74.3%	22.9%	2.9%	74.3%	22.9%		
		地域への情報発信	23. 授業公開やオープンスクールの実施	77.1%	20.0%	2.9%	77.1%	20.0%		

(2) 兵庫県教職員資質向上指標による自己点検 5段階で評価したのち、3段階（A:できている・B:できていない・C:わからない）の人数割合を表示

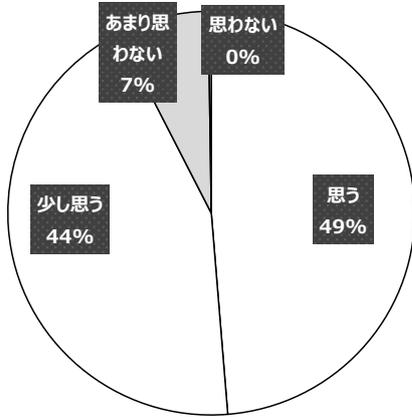
分野	資産	教員としての資質の向上に関する指標	A	B	C	達成状況			取組状況や改善方策
						□よくできている ■あまりできていない ■わからない	□まあまあできている ■できていない	■わからない	
学習指導	授業実践力 授業改善力	1. 学校教育目標や児童生徒の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、計画的に授業を進めることができる。	68.6%	22.9%	8.6%	68.6%	22.9%		○仕事が多く煩雑化している。仕事の取捨選択が必要。各人の負担を減らすこともそうだが、全体としての負担を減らすことも必要。 ○情報セキュリティに対する各教員の意識を向上させる必要がある。 ○学年PTAの代表の方と連携を取り、情報の共有に努めている。クラスのようなすなどをClassiでアップした。 ○Classiの活用を、家庭と連携しながら、さらに普及させる必要がある。
		2. 学習指導要領の目標や内容に基づき、児童生徒の実態に応じた授業を設計することができる。	77.1%	14.3%	8.6%	77.1%	14.3%		
		3. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組むことができる。	65.7%	25.7%	8.6%	65.7%	25.7%		
		4. 評価規準等に基づき、児童生徒の学習状況を把握・評価し、指導方法の改善につなげることができる。	77.1%	14.3%	8.6%	77.1%	14.3%		
生徒指導	集団を高める力	5. いじめ、不登校などの教育課題の緊急性や重要性を理解し、その予防・解決に取り組むことができる。	84.8%	15.2%	0.0%	84.8%	15.2%		
		6. 学年・学級目標の実現に向け、学級経営やホームルーム計画の立案・実行・改善ができ、児童生徒が安心して過ごせる学級づくりに取り組むことができる。	54.5%	15.2%	30.3%	54.5%	15.2%		
チームで組織を担う	協働性 同僚性	7. 児童生徒との適切な距離を保ちながら、生活背景や内面の理解に努め、カウンセリングマインドとストレスマネジメントに基づく指導を行うことができる。	88.2%	8.8%	2.9%	88.2%	8.8%		
		8. ワーク・ライフ・バランスや勤務時間の適正化を意識しながら、計画的に仕事を進めることができる。	34.3%	65.7%	0.0%	34.3%	65.7%		
		9. 児童生徒への指導等に関して、同僚・先輩や管理職等に相談し、指導に生かすことができる。	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%		
資質を高める	自己管理 能力 変革力	10. 校内における自分の役割を認識し、校務分掌を的確かつ効率的に遂行できる。	80.0%	20.0%	0.0%	80.0%	20.0%		
		11. 校内の情報を適切に管理し、取り扱うことができる。	82.9%	17.1%	0.0%	82.9%	17.1%		
		12. 学校安全のための危機管理を理解し、事件や事故、トラブルに適切に対応することができる。	77.1%	22.9%	0.0%	77.1%	22.9%		
資質を高める	自己管理 能力 変革力	13. 日頃から、ストレスマネジメントに努めるとともに、教員として自覚ある行動をとることができる。	85.7%	14.3%	0.0%	85.7%	14.3%		
		14. 適切な言動を心がけ、児童生徒や保護者等からの信頼確保に努めている。	91.4%	8.6%	0.0%	91.4%	8.6%		
		15. 日々の実践等を振り返り、自らの教育活動の工夫・改善に努めている。	94.3%	5.7%	0.0%	94.3%	5.7%		

3 学校関係者評価（総合）

令和4年度 学校生活に関するアンケート調査（生徒）

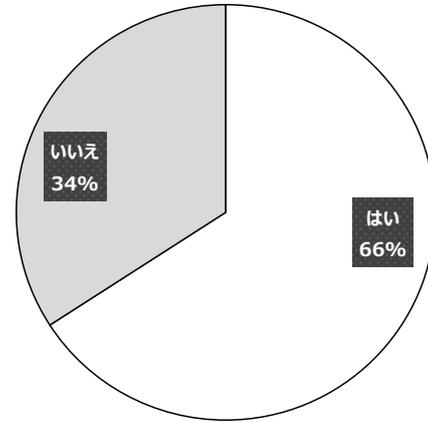
○ 授業に熱心に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
48.7%	43.8%	7.3%	0.2%



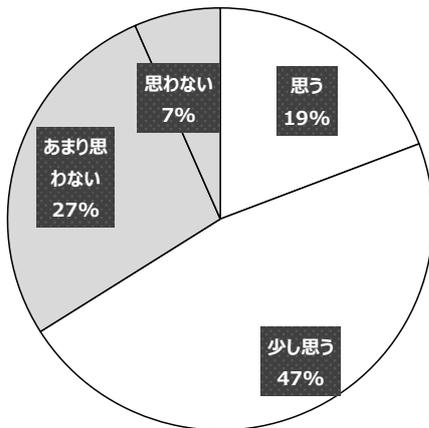
○ 部活動を続けていますか。

はい	いいえ
65.9%	34.1%



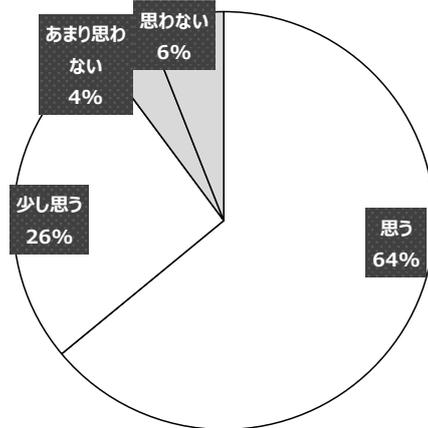
○ 予習・復習等の家庭学習の習慣がきちんと身についた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
19.2%	46.8%	27.4%	6.6%



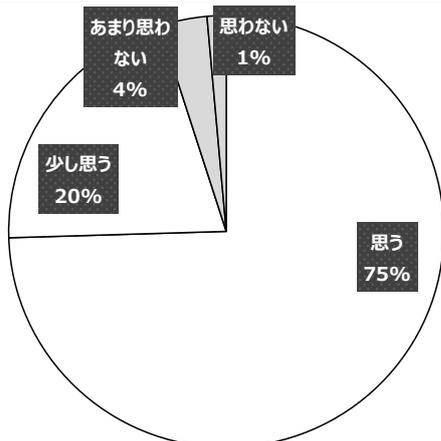
○ 部活動に熱心に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
64.0%	25.9%	4.2%	6.0%



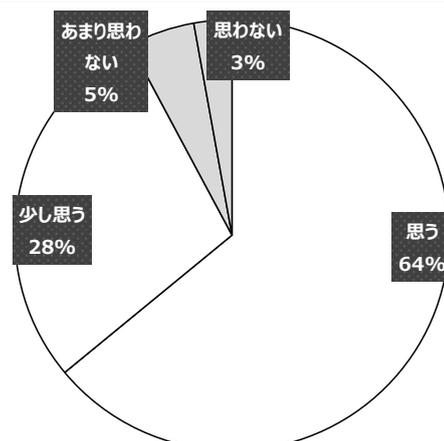
○ 文化祭に積極的に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
74.5%	20.5%	3.5%	1.4%



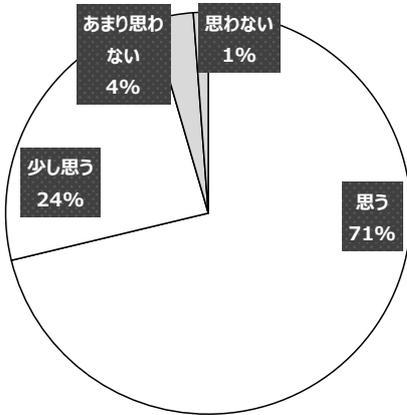
○ 体育大会に積極的に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
64.0%	28.2%	4.9%	2.8%



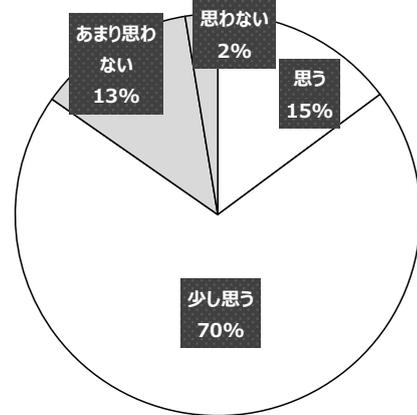
○ 校外学習に積極的に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
71.2%	24.3%	3.3%	1.2%



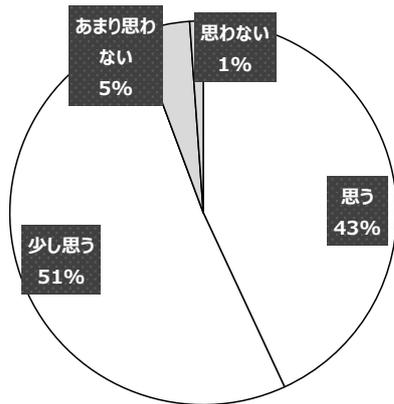
○ 授業について満足している。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
14.8%	70.0%	12.7%	2.6%



○ 授業・部活動以外の学校生活について満足している。

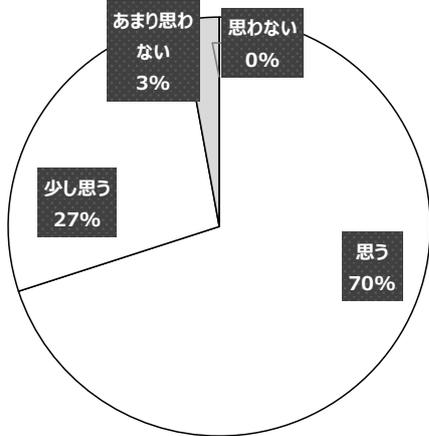
思う	少し思う	あまり思わない	思わない
43.1%	51.3%	4.5%	1.1%



< 以下6年次生のみ回答 >

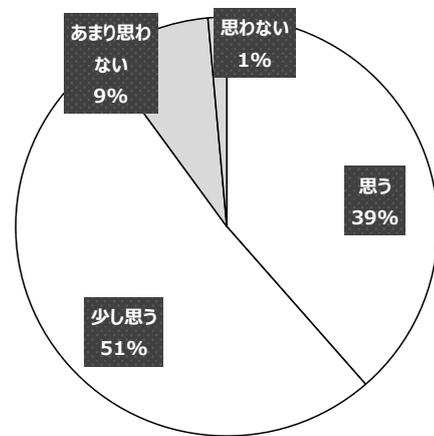
○ 修学旅行・研修旅行に積極的に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
70%	27%	3%	0%



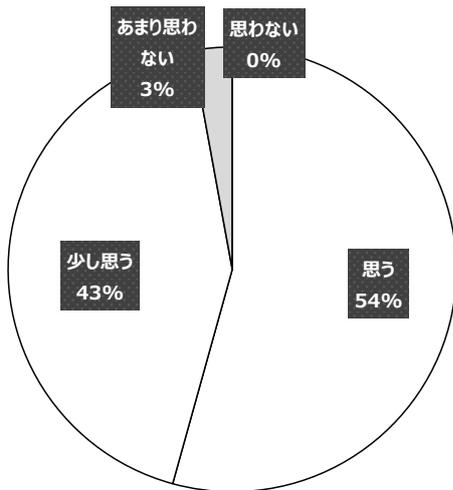
○ 自分の進路について満足している。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
39%	51%	9%	1%



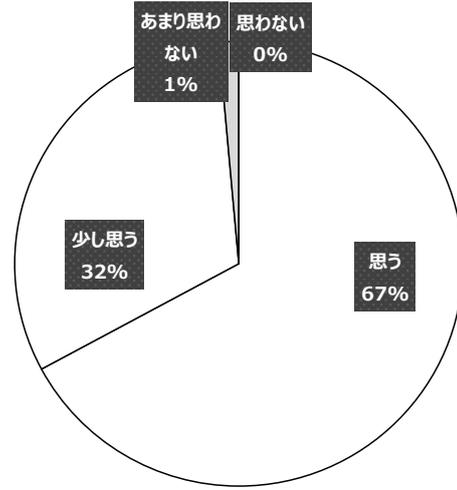
○ 芦屋国際中等教育学校で学ぶことができてよかった。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
54%	43%	3%	0%



○ 異なる国籍・言語・文化背景を持った友達と学べてよかった。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
67%	31%	1%	0%



記述 まとめ

部活動を続けなかった主な理由

- ▶ そもそも最初から入っていない。
- ▶ 体調のため。
- ▶ 多忙だったため。
- ▶ 怪我が増えたため。
- ▶ 習い事のため。
- ▶ 合わなかったから。
- ▶ 他に組みたいことに出会えたから
- ▶ 部活動に割ける時間がなかったため。
- ▶ 自宅が遠かったから。

授業について満足している。

- ▶ 先生の話がどれも面白いし、集中できる
- ▶ 先生の授業がとても分かりやすくノートも見やすくとても満足しています。
- ▶ 先生の言葉がわかりやすいから
- ▶ 先生によってする授業に特徴があり面白いし、わかりやすい
- ▶ 先生たちの説明がわかりやすく、質問があってもわかるまで解説してくれるから。
- ▶ 週に3回ALTの先生の英語の授業があり、essay writingやbook readingなど、芦国の外では受けられない授業が受けられているから。
- ▶ 授業を進めるスピードがちょうど良い
- ▶ 授業でやったことがしっかり身について大体テストでも答えることが出来たり、混乱した時に先生がもう一度説明してくれて理解できたりしたから。
- ▶ 授業が分かりやすく、苦痛にならないので授業に満足している。そして、楽しく学べるから。そして、分からないところがあってもしっかりとその後に教えてくれるから。
- ▶ 最近ではコンピューターを活用した授業もあり、分かりやすいです。その他の授業も分かりやすいように授業が作られていると思いました。
- ▶ レベル別の授業で個人に合った授業を受けられるから。また、総合の授業など芦国ならではの授業もあり、とても満足している。
- ▶ みんなが分からなさそうな問題を先生がしっかりと解説してくれて、分からないところも理解できるからです！
- ▶ My classmates are fun to work with.
- ▶ I understand a lot .

授業について満足していない。

- ▶ 内容が難しく理解するのに苦労しているから。
- ▶ 先生の説明はとてもわかりやすいけど、授業中、みんなが喋っていて聞こえなかったりするからです。
- ▶ 授業の進度が遅い。教え方の上手い先生も一定数いるが、この進度では大学受験で通用しないだろう。塾に行きたくても行けない人も、ある程度のレベルまでもっていけるようなレベルの高い授業を望む。
- ▶ 自分でできることをわざわざ学校に来て教わる必要はないと思うから。自分でやったほうが理解できる。授業中の無駄な時間が多い（先生による無意味な雑談など）
- ▶ 英語の先生があっていない。持久走をする意味がわからない。先生たちもすればいいのに応援してやる気を無くす。
- ▶ 英語の授業の質をあげてほしい。体育の持久走半袖半ズボン強制はよくないと思う。

授業・部活動以外の学校生活について満足している。

- ▶ 友達と話すことは楽しいですし、食堂のご飯も美味しいからです
- ▶ 毎日帰るところがあって、寝るところがあって、ご飯を食べることができて好きな習い事もさせてもらって、休日には友達と出かけたり、家族で旅行に行けたり、十分すぎるほどたくさんのものを与えてもらっているから。
- ▶ 毎日楽しくて平和な生活を送れているから
- ▶ 放課後に学習ができる点がいい
- ▶ 仲いい友達と一緒に登下校して、凄く幸せです。放課後や休日も遊びに行けて充実です。
- ▶ 塾にも通わせてもらって勉強面でも遊び面でもとても充実していると思うから。
- ▶ 授業以外にもクラスメイトとかかわる時間があるからです
- ▶ 国際色豊かな学校でユニークなメンバーと切磋琢磨できているから
- ▶ 行事も楽しめたし、友達とのトラブルも特になかったので、部活や授業以外での学校生活はこの1年間楽しめたと思います！
- ▶ 校外学習は力を合わせたり、休み時間には友達と話したりと楽しいから
- ▶ 休み時間に友達と会話したり、生徒会執行部役員として生徒会の仕事をこなす時間が楽しく、とても充実してるからです。
- ▶ 気の合う友達がいる、食堂のパンはおいしくて、冬だからセーターが着れて基本的に楽しい毎日が続いているから。
- ▶ 韓国語を今頑張っていて、芦国でしかできないことをしているような気がするから。
- ▶ 学年全体で仲が良くて日に日に楽しくなっている気がします。友達もたくさんいてみんな最高なので芦国に入ってよかったと思っています。行事もとても良くて毎日楽しいです。他学年との交流もできているので嬉しいです。
- ▶ いじめとかないし、クーラーがあるから。
- ▶ Our class is fun.
- ▶ Because everyone are very friendly .

< 以下は6年次生のみ回答 >

一番印象に残っている学校行事は

< 文化祭 (44.3%) >

- ▶ 練習時間が長く、みんなと一緒に頑張り、結果賞を取ることができたからです。
- ▶ 様々な国の展示を見て回るのが楽しかった。
- ▶ 芦国の文化祭の雰囲気が好き。
- ▶ 学年の舞台に関しては、今まで先輩方があまりにもすごい作品を作り上げてきたのを知っていたため、私たちにもできるのだろうかと不安だったが、観客も、私たちも感動する素晴らしい舞台を作れたから。
- ▶ 劇の練習に積極的に取り組み、とても感動的な劇を発表することができたから。
- ▶ みんなで放課後残ったりと、団結力を感じたから。

< 修学旅行 (38.6%) >

- ▶ 長い時間を学年の友達と過ごして、普段できない体験ができたから。
- ▶ 最後まで行けるか不安だった分、行けた時、想像以上に嬉しかった。
- ▶ 何度もキャンセルになった中、やっと行けた修学旅行だったため、よりいっそう嬉しく、楽しく感じた。
- ▶ 何度もキャンセルになったが無事行くことができいい思い出を作ることができたから。
- ▶ コロナで予定していたところに行けなかったり延期の繰り返しでしたが、やっと行けてとても充実した時間を過ごせたから。
- ▶ あまり話さなかった人とも話す機会が増えたから。

< 体育大会 (17.1%) >

- ▶ 15期全員で最後にダンスをしたから。
- ▶ みんなで何かするのが最後だったから。
- ▶ 夏休みも学校に来て練習し、とても達成感を得られたから。
- ▶ 学年全員で団結することができたから
- ▶ 受験勉強で忙しい中、男子みんなで学校に集まって演技を完成できたから。
- ▶ 体育祭を通して男子の絆がより強くなったように感じました。みんなありがとう。

自分の進路について満足している

- ▶ ずっと前から行きたかった国で、勉強することになったから。
- ▶ 英語と日本語、両方で学べる進路を選べたから。
- ▶ 志望大学に合格することができたから。
- ▶ 自分のやりたいことと学習内容がしっかりとマッチしていたから。
- ▶ 自分の夢につながる進学先に進むことができたから

芦屋国際中等教育学校で学ぶことができてよかった。

- ▶ 様々な視点から考える力、日常で当たり前にする挨拶や御礼の言葉を習慣にすることができたから。
- ▶ 友達から他の国の文化について教えてもらうことができたから。
- ▶ 唯一無二の学校、英語力が伸びた。
- ▶ 多様なバックグラウンドの生徒達と学べたから。
- ▶ 他の学校では味わえない環境で楽しく6年間過ごせたから。
- ▶ 他の学校では学ぶことができないことをたくさん学べたから。
- ▶ 色々な国籍の人と関わりを持つことで、物事を多くの視点から見ることを身につけることができたから。
- ▶ 自分と同じ経験をしてきた人と仲良くなれたから。
- ▶ 国際色豊かな環境でたくさん友達ができたから。
- ▶ いろいろな国籍や価値観を持った人と仲良くなれたから。
- ▶ 日本語で会話や授業を、余裕をもって受けるという夢がかなったから。

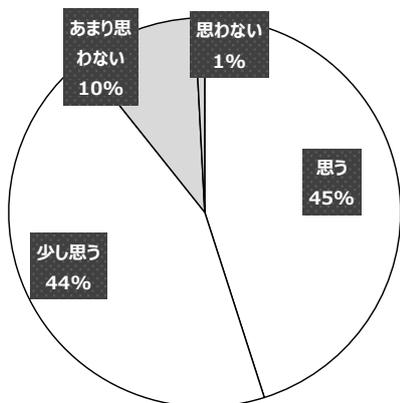
異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学べてよかった。

- ▶ 様々な文化や価値観に触れられたことで、視野を広げられたから。
- ▶ 他の学校と違って様々な国や環境で育った人がいることが当たり前という意識を持つことができ、そのことが自分にとってプラスになったと感じるため。
- ▶ 世の中にいる人の、様々な価値観やライフスタイルについての知識を増やす事で、他の人の状況や気持ちに上手く寄り添える事が出来る人になれた。
- ▶ 人に対する偏見や誤解をすることがなく、一人ひとりとありのままの姿で付き合う楽しさを知れたから。
- ▶ 自分のことをもっとよく知ることになったから。
- ▶ 差別、偏見という概念が自分からなくなった。
- ▶ 考え方や文化の違いを学ぶことができ、違った視点から物事を考えることが出来るようになったから。
- ▶ 海外の方がいじられていたり、嫌なことを言われてるニュースなどを見ると、自分も嫌な思いを抱けるようになった。
- ▶ 異なる文化背景を持つ人と過ごすことが当たり前だと感じる事ができたから。
- ▶ 異なる国籍の友達から、自分たちの文化などについての知識が増えただけでなく、差別のない環境でいられることができたから。

令和4年度 学校生活に関するアンケート調査（保護者）

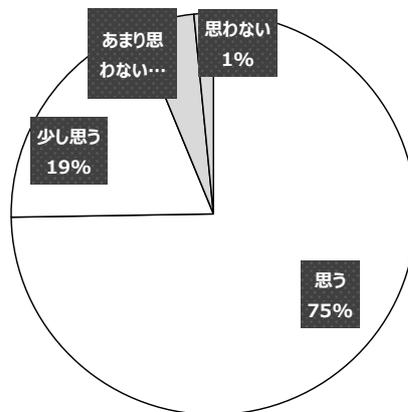
(1) 授業に熱心に取り組むことができた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
45.1%	44.3%	9.8%	0.8%



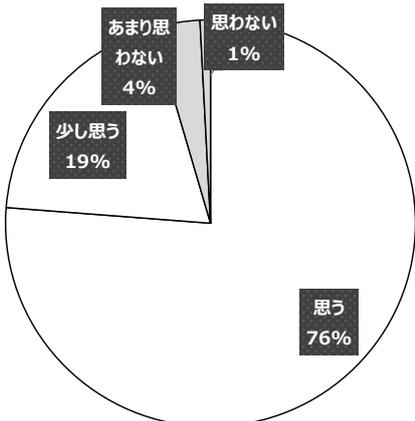
(4) 部活動に熱心に取り組んでいた。＜お子様が入部していた方のみ＞

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
74.7%	19.1%	4.6%	1.5%



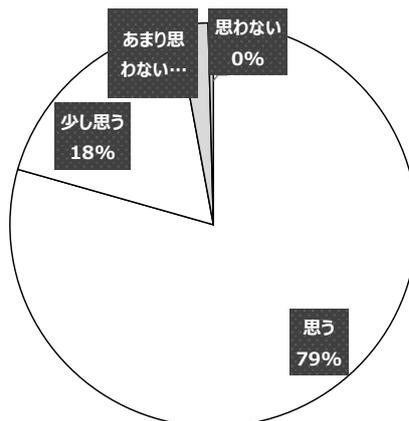
(2) 学校生活全般を楽しく過ごしていた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
76.2%	19.3%	3.7%	0.8%



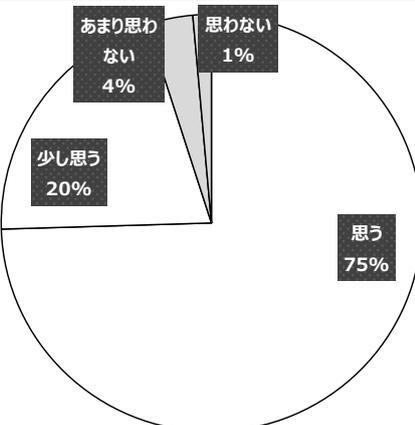
(5) 子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
79.4%	17.7%	2.5%	0.4%



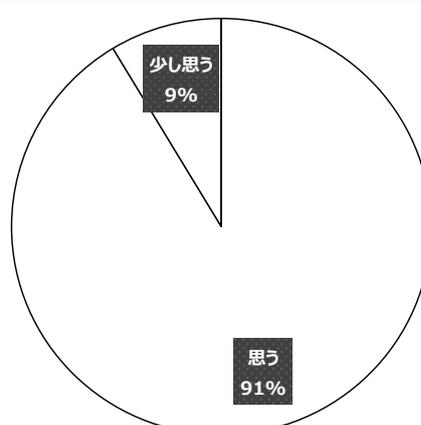
(3) 文化祭等の学校行事やスポーツ大会等の生徒会活動に積極的に取り組んでいた。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
74.5%	20.5%	3.5%	1.4%



(6) 異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学ばせてよかった。

思う	少し思う	あまり思わない	思わない
91.4%	8.6%	0.0%	0.0%



記述 まとめ

子どもを芦屋国際中等教育学校で学ばせてよかった。

- ▶ とてもユニークな生徒さんが多く、刺激を受け、国際学校ならではの環境で多くのことを学ぶことが出来たと思います。先生方もよくひとりひとりの生徒をみていただき、性格や個性を尊重してくれます。進学も、生徒の目標を尊重し応援してくれる先生方に感謝です。進路も様々でとてもユニークだと思います。
- ▶ 文化の違う国籍の人がいて、さまざまな才能のある人がいて、面白い学校だと思います。なかなかこのような環境で勉強できる学校はないので、とても良かったと思います。
- ▶ 学年の人数も少ないため一人一人に目が行き届き、子どもの性格や成長に合わせて丁寧に関わって下さいました。学年主任の先生には子どもから大人への成長著しい6年間を、常に側で見守って下さり成長を助けて下さり子どもも親もものすごい安心感がありました。本当に感謝しかありません。
- ▶ 学校の規模は小さくとも、多様性に富んだ個性豊かな友人達と6年間学べる事は素晴らしく、先生方の目も届きやすい環境だと感じました。
- ▶ 部活を一生懸命に頑張っている姿を見せてくれました。一つのことを長く続ける事の素晴らしさも感じてくれたと思います。部活があるから学校に行っていたようなものです。
- ▶ コロナ禍で不自由な学校生活の中でも出来る限り、のびのびと楽しく過ごすことができていた様に思います。
- ▶ 1人1人の個性をお互い尊重しあう校風の中で、自分らしくいる事が安心して出来、楽しく学校生活を送ることが出来たから。また一貫教育のため、目先の事に囚われず自分の将来をじっくり考えられたから。
- ▶ 色々な文化を持つ子が集まり、お互いに尊重しあっていたと思います。こんな学校はないかなかないと思います。英語がレベル別だったのも良かったです。
- ▶ のびのびした環境、子ども達一人ひとりを大事にして下さる先生方に見守られ、子どもの事を否定せず、前向きな声かけをし、伸ばして下さり、学生生活を芦国で学び、過ごせた事を本当に良かったです。
- ▶ 多国籍の子達とそれぞれの国の文化や違いを知り、お互いを認めながら学校生活を過ごせたことがよかったです。
- ▶ 帰国生など同じような環境で育った同級生と過ごすことができたので良かったです。また、英語教育ではレベル分けがされていたので、海外で吸収した英語力を維持することができたことに感謝します。
- ▶ 多国籍の生徒たちと学校生活を送る中で、他文化への理解や語学などが自然に身につく、相手への思いやりや配慮が出来ていると感じます。
- ▶ 帰国子女に対してのサポートが手厚いので、学力の問題だけでなく、精神的には親子共に不安が軽減されたのは有り難かったです。それ故に、子どもが学校生活にすぐ馴染め、未だに勉強には苦戦しつつもスクールライフは楽しめているようです。
- ▶ それぞれの個性を受け入れることのできる先生や友人に恵まれ、やりたいことに目一杯取り組み、楽しい学校生活を送ることができているから。

○異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと学ばせてよかった。

- ▶ 世界や視野や価値観が広がっていると思う。お互いの違いを認め合うって言葉にすれば簡単だけど、それを閉鎖的な島国の日本でまだ子どもの中学生から経験できることは本当に素晴らしいと思う。
- ▶ 子ども自身も帰国生であり、様々なバックグラウンドがある生徒が多い事は、少し安心感があり、良い刺激にもなっていたと思います。

- ▶ 伸び伸びと色々なバックグラウンドを持ったクラスメイトを身近に感じることは、本人の寛容性を育むことが出来ると思うから。
- ▶ 国際情勢や異文化に興味関心があるようで家庭でも良く話題になります。本人が色々な意味で世界をボーダーがなく素直にシンプルに捉えていることは、学校生活で受ける良い影響だと感じています。
- ▶ 様々な国籍・言語・文化背景を持った仲間が身近にいる事で自分だけが特別ではなく、皆それぞれが個性を持った人間であると言う事を体験を通じて実感できたと思います。
- ▶ 様々なバックグラウンド、個性を持った友人がいることで、自分のアイデンティティーを認めることができ、自己認識、自信につながったと思います。
- ▶ 普通は〇〇だ、～であるべき、～であるはず、等の固定概念を押し付けることが出来ない環境であること。
多種多様が当たり前で、その中でお互いの相違を受け入れ、折衝して合意出来る方向性を見出したりすることを思春期という多感な時代に日々経験出来ることから。
- ▶ 日頃から自分とは異なる国籍・言語・文化背景を持った友だちと生活を共にすることにより、そのことに対して抵抗感がなく、そのように人として大切な感覚を、子どものうちに身につけられることは大きな財産だと感じます。
- ▶ 政治的には関係が良く無い国のお友達でも、人間対人間としての交流は、世界中仲良く出来る事を早くから感じ取れるからです。
- ▶ 視野が広くなり国籍を問わずに色々な友達と関わる事ができ、また、通訳している先生などからも色々な学びが増え好奇心をもって今後も色々な分野で学んでほしいと思っています。

学校の教育活動へのご意見等があればお書きください。

- ▶ 入学時に各生徒のの一言ムービーを撮影、卒業式で流すと良いと思う。また、毎年文化祭の学年旗を体育館に飾る、文化祭の模擬店や劇のCMを流す、など、時間の取れる生徒中心に卒業式委員を設定しても良いと思う。卒業年度が成人の年でもあるので、成人式的な意味合いをプラスしてもよいと思う。行政からは18歳で成人となっても選挙のパンフが送られてくるくらいで成人を迎えた意識が持たないの。
- ▶ 海外への進学について、それをホームページに記載するならばしっかりフォローするのが筋だと思います。お世話になった先生方に申し訳ないですが、学校として立て直しが必要なのではないのでしょうか。県教育委員会は芦国設立時の資料を見直し、設立された背景や想いを教育現場に繋ぎ直して欲しい。また基本的な教室の環境(冷暖房)を整えて欲しいです。他県の公立一貫校、公立インターの中で最低レベルに落とすのは残念でなりません。
- ▶ 少人数で学べ、先生がいつでも質問に答えてくれる環境は有り難かったです。全体的に、良くも悪くも少しのんびりした感がありますが…
- ▶ 中学生では、友人関係などもまだ不安定で心配なこともあったが、勉強すべきことも見えてきてだんだんしっかりしてきました。交際交流で中国に行けたのも良かったです。英語の実力が上がったのも芦国だからできたのだと思います。ただ学校生活で目玉だったニュージーランドに行けなかったのが本当に悔やまれます。
- ▶ 6年間のゆとりをもったカリキュラムであるからか、生徒本人たちに勉強に対しての向上心が生まれにくいと感じています。2月は休みの日が多くなるので、その間オンライン授業をしたり、多めの課題を出すなど、勉強の習慣付けをお願いしたいです。
- ▶ 以前のように、重国籍者を外国籍者と扱い、1国に偏った外国籍生徒にならない入学要件に戻してもらえると有難いです。優秀な外国籍生徒を集めてこそ、芦国の良さが継続できると思います。
- ▶ 今年は学校行事に保護者も招いて下さり3年ぶりに子どもの活躍を生で見ることができて心から嬉しかったです。家庭ではわからない子どもの成長が感じる事ができました。
- ▶ エアコンなどの施設設備の使い方をもっと改善して頂きたかった。毎日夏は暑く、冬は毎年学校に行くとしもやけになっています。

- ▶ 学校行事は全て楽しんで取り組んでいたが、テストの日程や課題提出の時期も考えて日程を組んだ方がいい。保護者と先生、学校がもっと密に連絡が取れる様にメールを利用してほしい。デジタル化が異常におそい。
- ▶ 生徒と先生との距離が近く、安心して子供も預ける事が出来ました。6年間大変お世話になり、ありがとうございました。
- ▶ 文化祭の時にカメラを使うことができないのは残念に感じました。スマホで子供同士、また保護者とも連絡を取り合えたら便利なのにな、と思いました。
- ▶ 親も一緒に楽しむことができ、幸せでした。学校生活が終わるのが寂しく思います。卒業しても文化祭に参加させていただきたいです。入学試験の発表の日からいままで、本当に色々な思い出ができました。ありがとうございました。
- ▶ 前期授業でやるAIの授業を3年間同じ国について学べたら、もっと深く知る事が出来ると思った。
- ▶ 県立ということもあり、教育環境があまり良くないと感じる。生徒達が授業や試験、補習をする時にはせめてエアコン等をつけて少しでも快適に受けさせてあげてほしい。
- ▶ 先生方の学生と向き合って下さる姿勢に、いつも嬉しく思っていました。勉強の楽しさを教えてくださり、ありがとうございました。弟達も、芦国で学びたかったです。
- ▶ 本人が週末や長期休暇中の課題が多すぎて困っていた。親から見ても学力向上とは無関係な課題も多く、教科の先生の間で課題の量について共有されていないように思った。休暇中はしっかり休む、自分の好きなことに打ち込む、苦手科目のを克服するなどの時間に使うように配慮することも必要と思う。
- ▶ 他校と比べてみても、これだけ個人に細かくご指導くださる学校はなかなかないのではと思います。信頼できる先生方に恵まれていることを有り難く感じ、感謝申し上げます。
- ▶ 数年続くコロナ禍においてまだまだ制約が多い中で、保護者ツアーの開催等少しでも学校の様子を知ることができる機会を設けていただき、大変ありがたく思っています。
体育祭は走る競技ばかりだったのが少し気になりました。走る事が得意な生徒以外にもスポットライトの当たる競技や、ゆるスポーツ、生徒達が考えた競技を取り入れるなど、もっと芦国らしい独自性のある面白い体育祭になってもいいのではないかな、と思いました。
海外留学に関する情報のまとめや情報交換会(実際に行った生徒と行きたいと考えている生徒や、親同士など)などがあると嬉しいです。校長先生の毎朝の新聞切り抜き配信、大変ありがたいです。娘はよく読んでいるようです。(ブログも日々楽しく拝見させていただいています。)
- ▶ 思春期真っ盛りということもあり、学校生活の中で、自分がおかしいと思う事には批判的な言葉で話したり、態度に出たりはありました。まだ子供なので、大人に対する(先生方)疑問などもあったようです。ただ、物事を違う方向からも見る事ができるようになってきたので、先生方の忍耐強いご指導のおかげだと思います。ありがとうございました。
- ▶ もう少し英語力をアップできる環境があればと思います。日本語禁止の場所作りなど。外国人は逆に日本語を必死に学んでいると思いますので日本人も必死に英語を学べる環境作りがあればもっと学校の魅力がアップすると思いました。神戸では葺合高校が英語力アップに取り組んでいますので、近場に良い例があると思います。高校受験が無い分子供達が6年間で自分たちをどう高めていけるのかを未来の自分を今イメージして卒業式のころには自分はどうなっていたいのかを明確にイメージする時間を設けて、逆算して今の自分がどこまで到達しているかをみて具体的に今後の自分をどうしていけば目標に到達できるのかを考えることができる時間を作ればもっと具体的に今の自分がどこにいて何が足りないのか、そして何を日々取り組まないといけないのか？未来がわからなければ今からでも職業、学校などを調べることもできますし意欲的に6年間を過ごす事が出来ると思います。と勝手な私の独り言です。
今すでに一生懸命先生方は貴重な時間を子供達に使っていただき素敵な学校作りをさせていただいているのは承知しております。その事に感謝の気持ちでいっぱいです。